

津房地区まちづくり協議会だより

～心かよい 人が輝く ふるさと つぶさ～

津房地区の皆様へ
まちづくり協議会の事務局は
月・火・木の週三日開いています
HP: <https://tsubusa.com/>

黄色い旗運動のDX・ICT化実証実験のご報告 (宇佐市公募の助成事業)

おもに高齢世帯などを対象に、朝から夕方まで黄色い旗を軒先などに掲げ、「今日も元気です」というメッセージを周辺に伝えることで見守り活動を行う「黄色い旗運動」が幾つかの地区で運用されていますが、近隣住民間の互助による見守りができる反面、高齢世帯であること、あるいは家人不在を一般の外部者へ情報公開することになり、防犯上のリスクとなります。

また、家人の突発的な事故などを外部に速やかに伝達できる機能が有りません。

これらの課題を解決するため、情報通信技術を活用した専用システムを試作・運用し、黄色い旗運動以上に地区のあんしん・安全生活の向上を図れないものかと、昨年6月、市の公募事業に応募したところ採択され、実証実験を行いました。

具体的には、

① 7月から宇佐市・地域おこし協力隊員の田中克典氏が運営する会社を委託先とし、簡便なカスタムメイドの電装品（元気を知らせる黄色いボタン、非常事態を通報する赤ボタン、無線通信機などを装備）、携帯端末、既存の情報インフラを組み合わせたシステムを構築。

② 並行し、モデル世帯となってもらえる地区内の独居10世帯への協力をお願い、見守り役を果たしていただく区長さん、民生委員さん、ご親族の方への説明、お願いなどを実施。

③ 11月初旬からことし1月末までの3か月間、システムを運用して実証実験。

④ 2月初旬に全ご参加者対象のアンケート調査、2月末に結果のまとめ。

☆ 実証実験を通じて把握できた課題や、アンケートで提起された要望が明らかになりましたので、それらへの解決策を添えた報告書にまとめ、行政へ完了報告します。

☆ 高齢化と独居世帯化が着実に進む当地区にあつては、是非とも普及を図りたい事業ですから、システムの改善を図りながら、次年度以降も引き続き取り組むこととします。

3月14日。見守り者の方への報告会



津房小学校の教育について語る会 ***ご参加呼び掛け***

ことし第134回目の卒業生を送り出した我が津房小学校、多くの地区民にとって「心のふるさと」とも言える存在ですが、少子化の波は止まるところを知らず、児童数の減少著しい状況です。

小規模校のメリットを最大限に生かした特色ある学校づくりを目指しておられる現役のPTAを側面支援しようと、当協議会も様々な協賛事業に取り組んでいるところですが、今般、市教育委員会より、「第2期宇佐市教育振興基本計画（2026～2034年度）」を来年度に策定するに際し、地域の意見を聴取するために、下記要領で標題の会を開催したいとの案内を受けました。

津房小学校の現状と今後のあるべき姿について地区民が集い、忌憚ない意見を述べ合うのは大変意義ある会と捉え、多くの方に参加頂きたくご案内いたします。

記

【日時】4月15日（火）19:00～20:30
【場所】津房地区公民館

津房少年消防クラブの卒団式

今春の津房小学校卒業生4人のうち1人だけが少年消防クラブの団員で、これまで防火週間の呼びかけなどで活躍してもらっていましたが、中学への進級により卒団の日を迎えました。（卒団員のひと、ご苦労さまでした！）

卒団の節目として、去る3月2日の午後、全員で中央機庫の消防車に乗ってのパトロールに出動、最後の務めを果たしました。

そのあと、地区公民館で主宰の濱野俊久先生（六郎丸）の指導のもと、団員だけで非常時の自活能力の訓練を兼ねたカレーライスの調理と試食会をしました。

たいへん意義ある活動です、残り4人の団員のほかに、新団員が加わってくればと、地区民皆が願っています。



「オイサズ」ようやくリベンジ!

大リーグの開幕カードの一つ、ドジャース対カブズ戦の東京開催で日本中盛り上がりましたが、こちら津房郷では、3月13日の学校公開日、津房小高学年生で編成した「津房ドジャース」と大ムカシの野球少年・少女で編成した「オイサズ」が試合を行い、なんと！三度目の正直（？）、オイサズが6対3で勝利しました。

昨年7月と11月の試合で連敗、オイサンたちの権威は全く失墜（元々無いか！）していましたが、6年生4人の卒業の直前に何とかリベンジを果たせました！

勝って大口をたたくようですが、何十年ぶりかの野球を楽しませてくれた児童諸君にオイサンたちは全員感謝しています。

津房小への大谷グローブ贈呈を契機にスタートした野球への取り組み授業、児童諸君の体力増進やチームプレーの大事さの体得、また、地区民とのふれあいを通じて郷土愛を育むなどの多くの教育効果があった筈で、来年度も野球やろぜ!



ご寄付のお知らせ

井福 政司さん（松本）より
（一令室 井福 早苗様（享年九十一歳）の
ご逝去に際しての香典返しの際として
ご寄付を頂戴いたしました。
当協議会の活動費として活用させていただきます、
ご意向にお応えして参ります。

津房産 大しめ縄を納めました

神社の鳥居やご神殿に飾られる「しめ縄」は神祭具として欠かせぬものですが、近年その制作技能者がすっかり減ってしまい、どこの神社でも奉納を担う氏子は調達に苦労しています。

この流れより、ことし初め、長さ4メートルほどの大型のしめ縄を制作できる人材は津房地区に居ないかとの問い合わせを受け、地区内の数少ない技能者である森 昭さん（六郎丸）にお声掛けしたところ、チャレンジしてもらえることになり、ひと月半掛かりで制作いただき、無事納入しました。

ことしは宇佐神宮の御鎮座1300年という節目の年ですが、この津房産の大しめ縄が平たん部の由緒正しいさる神社に奉納され、節目に関連した神事で飾られること、誇らしい限りです。



大しめ縄と森 昭さん

